



インスピレーションになろう

RI 会長テーマ

2018~2019 年度

大船渡西ロータリークラブ会報

# 七福人



会 長 浜田 浩誠  
副会長 木下 彰則  
幹 事 菅野 嘉洋

＝会長指針＝  
初心を忘れず、寛容の心で  
よりよい奉仕を進めよう

## ．．． 例 会 記 録 ．．．

9月第3週例会 2018年 9月20日(木)

ソング : それこそロータリー ボックス : 34,000円(報告者 山口ひとみ会員)  
本日出席率 : 76.92% 前回修正後80.77%(メンバー6名)(報告者 紀室 綾子会員)

### ★会長の時間 浜田浩誠会長



先週の木曜の例会終了後、大船渡結婚支援包括センターとの連携協定の締結式がありました。西ロータリーとしては、結婚支援包括センターが取り組まれてきた事項を中心に、5つの連携をしていきたいと思っております。

・まずは、大船渡結婚支援企業の登録推進現時点で101社の登録がありますが、未だ当クラブで登録していない所もあるようではございませんがご協力頂けると助かります。

- ・運営課題等の検討及び推進に向けた協議への参加と、結婚支援の推進に関する協議の場への参加。  
亡くなられた前原さんが積極的に参加しておられましたがセンターでも色々な検討会等しているようです。協議会の度に皆様にご案内致しますので是非参加の程お願い致します。
- ・支援センターが開催する結婚支援に関する講演会やセミナーへの講師の派遣。当クラブには、弁の立つ会員も多くいらっしゃいますのでセンターから依頼のあった際は、手を上げて頂くと誠に助かります。
- ・結婚支援に関するイベントの周知及び参加推進の協力  
以前にも案内が色々ありましたが今後もあると思っております。都度ご案内いたしますのでご協力お願い致します。これらの協力が少しでも人口減少の歯止めになれば良いと思っております。  
4年生大学を有しない当地域は、高校を卒業した若者の約8割が流出し、最終的に戻ってくるのは2,3割程度にとどまっている現状であり、これが、当圏域が抱える最大の課題であると認識しております。  
若い人たちがいったん大都市圏に出て行って、専門的な知識、技術、経験等を習得し、また地域に戻ってきてもらう、あるいはIターンとして地域に人が定着できる仕組みをつくる必要がありますが、その一つとして結婚が大きくかかわってくると思います。  
結婚して子供を作り人口減少に歯止めをかける事がこの気仙地域には、最も重要な事だと思っております。  
若者達が定着し、多彩な人財が将来にわたり往来する活力と魅力にあふれる「大船渡市」にしたいと思っております。  
以上、会長の時間とさせていただきます。

## ◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1 ロータリー米山奨学会より マンスリーニュースが届いています。

：：今月のトピックス：：

- ・2760地区斎藤直美氏が新理事長就任
- ・GSE でよねやま親善大使がスピーチ
- ・8月までの寄付金が前年同期比0.7%減
- ・2620・2580地区合同で柿田川湧水公園清掃
- ・台湾学友会による日本人への奨学金が10年目を迎えた

## ★ 藤澤和也社会奉仕委員

本日予定しておりました「育みの像」清掃は中止とさせていただきます。



## ◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

## クラブ奉仕アワー : 佐藤良委員長卓話

クラブ奉仕委員会はロータリーの第一奉仕部門で、奉仕に関する事柄を遂行する上で役立つ指導と援助の方策を講じ実施する委員会です。次に挙げる6つの小委員会により構成されております。

**親睦活動：**ロータリーの原点でもあります会員間の親睦を早く多く深め、例会時間より早めに会場に入り来訪者、会員を笑顔で迎える事。会員、来訪者、他クラブ、家族に対する親睦活動がテーマとなっております。最も重要な親睦は一緒に奉仕活動をする事です。周りに対しロータリーを理解して頂きロータリーのファンにする活動も担っております。

**クラブ会報：**クラブ会報の発信により関心を促し、出席向上、記録写真による情報発信、世界各国にニュースとして伝える事が主な役目です。七福神に掲載されております写真も委員により撮影されております。

**ボックス：**活動計画にもありますがクラブ内の活動をより活発にする為に不可欠な物となっております。しかし義務ではなく記念、慶事、行事、その他良い事嬉しい事があった時に積極的にご協力を頂きたいと思っております。義務では無くとお話致しましたが、無くてはならないクラブの財源となっております事も事実です。献金も奉仕活動の一環でもあります。

**出席：**一番基本的な活動で最も重要な活動です。忙しいのは社会人として皆んな同様の事ではありますが、出来る限り都合を付けやり繰りをし、習慣づけて頂きたいと思っております。週に1度食事をしながら他業種間での会話をし新たな情報を得ると考えて頂ければと感じます。

又、どうしても都合が合わない場合は様々なイベント、奉仕活動によるメーキャップも合わせて推進したいと思っております。

**プログラム：**本クラブの例会プログラムの年間計画を立案し準備し手配をする事が必要となっております。詳しくは年間活動計画書をご覧ください。

**広報、雑誌：**地域社会においてロータリーの精神、奉仕等の活動内容を多くの人々に発信し理解して頂く、又、情報提供により共感を得られるように努力していく事が重要です。ロータリーとしての活動を会員及び会員以外の人々に伝えるべく各高校、図書館、合同庁舎、市役所等に配布し広く広報する事がテーマとなっております。

まとめとしまして、職業上の発想の交換を通じて分かち合いの精神による事業の永続性を学び友情を深め、自己改善を図り、その結果として奉仕の心を育みましょう。クラブの精神を元に家庭、職場、地域社会で奉仕活動を実践しましょう。

その為には出来るだけ率先し都合を付け例会、行事に出席し会員間のコミュニケーションを図り好意と友情を深めましょう。ロータリアンの義務として例会に出席する事、及び奉仕活動に参加する事。新会員を推薦する事。委員会活動、プログラムに参加する事。ザ・ロータリアン、ロータリーの友を購読する事とあります。奉仕理念を学びそれを実践していき人を育てるとありますが、全ては自分を成長させ自分を磨く事と感じます。

今回は固い文章では無く私なりに噛み砕き優しい言葉でお話したつもりではありますが、締りの無い話になりまして大変失礼致しました。